



磐梯朝日国立公園 特別講演会 in 飯豊&朝日 持続的な登山環境のために

東北を代表する大山脈、飯豊連峰と朝日連峰。原生的で広大な山岳環境は、登山者の憧れとなっています。しかしながら、登山のための環境を将来にわたって持続的に守っていくためには多くの課題に直面しています。一方で、同じ課題を抱える他の山岳地域では、官民が連携した先進的な取組が増えつつあります。今回、登山環境に関する全国的な傾向や他地域での先進事例を知り、飯豊連峰・朝日連峰の未来をともに考えるための講演会を開催します。

開催日

令和6年 3月7日 木

参加費無料 どなたでもご参加いただけます

■登壇者・テーマ

久保田 賢次(くぼた けんじ)氏

登山道法研究会、元『山と溪谷』編集長

**登山道が抱える諸問題と
全国的な傾向****大土 洋史**(おおつち ひろし)氏

株式会社ヤマップ アウトドア事業開発部長

**保全を通じた関係人口の創出と
財源確保の事例****勝俣 隆**(かつまた りゅう)氏トレイル研究家、(一社)雲ノ平トレイルクラブ理事、
(一社)北杜山守隊理事**登山道管理のための
民間団体の役割と活動事例**

時間

9:30~12:30

開場 9:00

会場

飯豊町 町民総合センターあーす
多目的ホール

山形県西置賜郡飯豊町大字椿3622番地

Zoom オンライン同時開催

申込み

締め切り

2月29日 木

会場

定員 100名

オンライン

定員 50名

《申込方法》

必要事項を記載の上、メールにてお申込ください

- 申込先 NPO法人飯豊朝日を愛する会（講演会事務局）
- アドレス iide@ic-net.or.jp
- 必要事項 メール本文にご記載ください
 - ①参加希望者の氏名（複数名の場合は全員分）
 - ②所属団体（個人の場合は個人と明記）
 - ③ご連絡のとれる電話番号
 - ③参加形式 会場／オンラインの別

※オンライン参加にてお申込の方には、開催前日までに

Zoom参加URLをメールにてお知らせいたします。

登壇者プロフィール



久保田 賢次 (くぼた けんじ) 氏

登山道法研究会、元『山と溪谷』編集長

大学卒業後、山と溪谷社に入社し、広告部を経て雑誌編集部へ。『山と溪谷』の編集長、ヤマケイ登山総合研究所所長、日本山岳遺産基金事務局長などを歴任。退職後は筑波大学生命環境科学研究科山岳科学学位プログラムを修了。その後、日本山岳救助機構研究主幹、東京都山岳連盟救助隊員、日本山岳会理事、全国山の日協議会広報などを歴任。登山道に関心を寄せる山岳会会員、大学研究者、行政職員、自然愛好家、山岳誌編著者などの有志から成る登山道法研究会では、全国の登山道整備の現場に関する報告書、「これでいいのか登山道」をとりまとめた。



大土 洋史 (おおつち ひろし) 氏

株式会社ヤママップ アウトドア事業開発部長

2018年、株式会社ヤママップ入社。全国の国立公園や山岳地域において保護と利用の循環を実現すべく、国・自治体・企業などと連携した取組を実施。直近では、新潟県妙高市と「国立公園妙高の振興に向けた相互連携・協力に関する包括協定」を締結し、保全に関する財源確保や人材の育成の取組に着手している。



勝俣 隆 (かつまた りゅう) 氏

トレイル研究者、(一社)雲ノ平トレイルクラブ理事、(一社)北杜山守隊理事

北中米勤務時代にウルトラライトハイキング黎明期の胎動を本場アメリカで体験。帰国後はハイカーズデポに勤務し、日本のウルトラライトハイカーの中心人物に。ハイキングだけでなく、米国の国立公園システムやアウトドアに関する文化的歴史的背景にも造詣が深い。雲ノ平トレイルクラブや北杜山守隊の設立にも関わり、登山道やトレイルの管理運営団体や保全整備活動に関する調査研究活動に取り組んでいる。最近では信州松本と飛騨高山を結ぶ「信飛トレイル」の2024年開通に向けて尽力しているところ。

会場

